

# 新学期から注意していくこと

稲西小

□生活場面で

## ★朝の登校

- ◎登校班での登校だが、前後の間隔を空けること、マスク着用、おしゃべりなしで。
- ◎あいさつは、マスク越しで行う。「目を合わせて、じっくりとできるといいね。これをアイコンタクトというんだよ。」と教えてあげてください。

## ★玄関

- ◎「稲西っ子健康パスポート」(検温カード)を見せ、手の消毒を済ませて教室へあがる。  
※37度以上の子、検温忘れの子は、中央渡りで検温後 教室へ。

## ★朝の教室

- ◎「稲西っ子健康パスポート」(検温カード)は提出。鞆を片付けた後など、密集状態にならないように注意。距離感をたもって、静かに会話、読書などをする。

## ★太陽の時間

- ◎外遊び、密集、密接とならない遊びを工夫する。声を出しても良いが、マスクは着用する。

## ★給食

- ◎手洗い、消毒の徹底。
- ◎席は間隔を開けて、マスクを外すため、おしゃべりをせずに食事をする。
- ◎外したマスクは机の中に入れ、食事後着用する。

## ★昼休み・掃除

- ◎外遊び時もマスクは着用する。
- ◎掃除特にぞうきんの子が固まらないように指導する。
- ◎掃除終了後、手洗いを丁寧にする。
- ◎このタイミングで、教室等のドアノブ等必要場所の消毒をする。

□授業時について

## ◎あいさつ

- ・これから～の勉強を始めます・終わります → 始めます・終わります(大きな声を出さずに)  
※「礼」に「頑張るぞ」の気持ちを込めて・・・教師の投げかけ、認めが重要です。  
※アイコンタクト・・・目と目があっているかな じっくりと合図できるかな

## ◎机列

- ・隣同士、机は合わせない。前後、特に前席は極力振り向かないように。  
※ソーシャルディスタンスを教える場にもなります。(日本全国で頑張っているね。)

## ◎教師の声、指示、発問

- ・教師の声も通常よりも小さめに、ゆっくりとできる限り端的に、そして隅から隅へと見回してアイコンタクトでじっくりと・・・
- ・発問は、吟味・厳選して行い、極力繰り返さなくても良いように。1回で決める。  
※集中して聞くことを子どもたちに身に付けさせる、聞き方指導でもあります。

## ◎教室内で児童に発表させる場合

- ・つぶやき等は大きな発声にならないように、マスクはつけたまま話す。(隣に声が届かないくらいの声で話そうね。)
- ・発問後は、自分の考えをノートに書かせる。じっくりと時間をとって。

- ・よくわからない場合は、静かに手を挙げて待つ。
    - ※困っていることを表すサインを決めておいて出させる。(赤帽をかぶる・・・とか)
  - ・挙手からの流れ
    - ア 挙手→ 指名→ 書画カメラで見せて読ませる→ 書いている内容を目で追わせ、確認→ 板書に位置づけ
    - イ 挙手→ 指名→ 前面等へ移動→ マスク越しに発言(大きな声で話さない)→ 静聴→ 反応→ 板書に位置づけ
- ※小さな声でも聞き取れるよ。頑張ってる聞いてね。さすがだね…。集中して聞いているね。

## □教科における注意事項

### ★国語科

- ◎教室内での声を出しての音読当面自粛、黙読で・・・低学年は難しいかも。
  - ※「書く」教材からスタートするなど、カリキュラムの順を変えることも考える。
- ◎教師による範読は良いが、声の大きさに注意し、マスク着用で行う。できれば、デジタル教科書を利用して、発声回数を減らすように努める。
- ◎音読をさせる場合は、教室を出て、木の部屋、体育館、又は外で授業するのも良い。
  - ※但しマスク着用のうえ、対面にならないように同じ方角をみて・・・とか工夫が必要。
- ◎読み聞かせも、黒板前に集めることはせず、自席で聞かせる。
- ◎図書室利用時は、窓を開けて換気し、入室時には、手洗いまたは消毒を行う。また、学級児童が一度に入らないよう二つに分けるなどの工夫をする。

### ★算数科

- ◎通常のペア交流、グループ交流は行わない。
- ◎当面、「聞く」→「話す」の流れから、「聞く」→「書く」という流れを重視する。
  - ※自分の考えを文字にして記すという学びを定着させる。

### ★社会科

- ◎デジタル教科書を活用して、映像資料を中心にして読ませ、見つけたこと、考えたことをノートに記述する。
- ◎見学では、グループ単位での聞き取りを行うなど、密集とならないようにする。
  - ※見学地によっては、見学を断られることもある。場合によっては、ビデオカメラ等で撮影したもので学習させることも検討する。

### ★理科

- ◎子ども個々が取り組む「観察」を中心の単元から学習を進めるなど、可能な範囲でカリキュラムの変更を考える。
  - ※特に自然観察等、外でできる学習はおすすめである。ただし、集合時等、密集にならないように間隔を空けて座らせること。
  - ※外での声の大きさは、教室よりも大きくて良いが、小さくても聞けるというスタンスでのぞみたい。
- ◎理科室では、グループ机であるが、極力間隔を空けて座ること。教室でできることならば、教室を利用する。
- ◎器具等利用した場合は、消毒をする。

### ★生活科

- ◎学校探検等で手をつなぐことはしない。2年生との交流については、検討を要す。
- ◎外での活動を多く取り入れ、観察カードなど丁寧に書かせるようにしていくと良い。

### ★体育科

- ◎集合時の隊形に注意。集合時は、隣同士前後の間隔を意識させ座らせること。最初の授業で左右前後1メートル程度の間隔をあげ、実際の間隔を体得させる。
- ◎密集・接触の伴う教材（ボールゲーム、ドッジボール・・・鬼ごっこ）は、Ⅱ期以降にして、カリキュラム替えを行う。
- ◎保健の学習などを織り交ぜていくとよい。
- ◎できる限りグラウンドを利用する。
- ◎体育終了時は、教室に入るまでに必ず手洗い、うがいをする。決めてある水道を利用する。密集にならないように。

### ★音楽科

- ◎教室で歌は当分の間、歌わない。（飛沫感染予防）CDで曲を聴くことが中心となる。曲の情操を絵にしてみる、歌は歌わない（心の中で歌う）が、リズムに合わせて体を動かすなど、工夫したい。
- ◎鑑賞の時間や楽器の時間を多めにとる。楽器は打楽器など、飛沫拡散の少ない楽器（打楽器など）に限る。リコーダー演奏も当分の間、教室、音楽室では演奏しない。
- ◎体育館、外において、マスク着用で歌唱、リコーダーを吹くのはよい。ただし、隊形が対面とならないようにすること。また、個別指導は少人数に分けながら、廊下等の場所にて歌唱等の指導を行う。

### ★家庭科

- ◎調理実習は、Ⅰ期には行わず、カリキュラムを入れ替える。ミシンの学習なども同様とするが、裁縫については、個々の取組のため、家庭科室での座席の間隔に十分注意させて行う。
- ◎環境やくらし等の学習を先に行うとよい。

### ★図画工作科

- ◎個々に対応できる教材で、図画からスタート、座席の間隔については十分注意を払う。楽しみながらできると良いが、一人一人が教材と親しむように仕向けてもらえると良い。
- ◎廊下を利用するも一つの手。机を廊下にも出して広く使うこともよい。

### ★道徳科

- ◎教師の範読等、声の大きさに注意して行う。
- ◎振り返りなど、書くことを中心にして、自分見つめをさせていく。

### ★英語科・外国語活動

- ◎前向き姿勢で、当面はグループ机にすることはなし。
- ◎リスニング、ライティングを中心にして当面は学習する。

### ★総合的な学習の時間

- ◎Ⅰ期については、外部講師が入る授業については、自粛する。
- ◎2クラス合同で行う場合は、木の部屋ではなく、体育館（又は外）で活動する。その場合も座席の間隔には十分に配慮する。

### ★パソコン

- ◎パソコン室は、暗幕はしたままでも良いが、必ず南の窓を全開放する。廊下側の扉（2カ所）も開けた状態にする。